

熱く語れ 大きく動け 人がふれあう 境浜魂 ~境づくり計画(見直し版)~

もくじ

1	境づくり計画(見直し版)について P1	
2	境はこうありたい (行動計画) P2~12	
(1 (2 (3	参考資料 1) こんなことをやってきた(境づくりの歩み)… P13~14 2) 境づくり計画見直し委員会名簿 … P15 3) 策定経過 … P16 b とがき … P17	

1 境づくり計画(見直し版)について

わたしたちは、これまで平成 26 年度に策定した境づくり計画「初版」(計画期間: H26~R5 年度)に基づいて地域づくりに取り組んできましたが、新しいことへの挑戦や既存計画の充実を図る必要がありました。

令和元年度、わたしたちが考え、意見を出し合い、中後期の新たな境づくりを目指し、行動計画の見直しを行いました。

今回の行動計画の見直しによって、行政や関係機関と協働し、力を合わせ、住みよい境を目指して境づくりを進めていきます。



▲ H26 年度境づくり計画(初版) 策定委員会



▲ R元年度境づくり計画(見直し版) 策定委員会

地区の大目標 大目標 「熱く語れ 大きく動け 人がふれあう 境浜魂」 キーワード 人とのつながり 住環境 地域資源 P5~8 P3~4 P9~12 こうありたい 住みやすい、 にぎやかなふれあいの 魅力あふれる境を 残りたいと思える 場をつくりたい 盛り上げたい 境をつくりたい



_	現はし プグラルバー (1) 動 三 画/	
キーワー	こうありたい	だれが たれが 地域・団体名・市・県・国
F	住みやすい、残りたいと思える境を つくりたい	体育協会境小学校
		体育協会 老人クラブ
		福祉厚生部振興会
		境地区公民館
住環	▲ 軽スポーツ(ふれあいグラウンドゴルフ大会)	振興会
環境		境地区公民館
		境地区公民館 民生委員
		振興会 民生委員
	▲ 交通安全(さわやかあいさつ運動)	交通安全部会
		交通安全部会

いつ、何をする			市役所関係課長等の見解
前期(1~3年目) 平成26~28年	中期(4~6年目) 平成29~令和元年	後期(7~10年目) 令和2年~5年	可及///展/水脉及40/20/A
○境地区の各団体で、	ラジオ体操等の健康運動を	宇施する。	
〇 鉄道公園で開かれる	軽スポーツの参加者を増く	5 † 。	
〇 ゴミ分別を教えあう体	は制をつくる。		
O 鉄道公園にバリアフ きれいな境をつくる。	リーのトイレをつくるなどの	整備をし、景色の	
	〇 鉄道公園をきれいに	整備する。	
〇 国道等に設置した、 あれば増設等を検討	鉄道公園への案内板を維持 する。	特管理し、必要が	
〇災害時の避難計画を	そ、老人の対応を考えて再確	筆認する。	
	〇 独居老人を見守るた	めの対策を考える。	
〇危険箇所に一時停止	この白線を引いてもらうよう	要望する。	
〇 国道付近にのぼりを	設置し、交通安全の意識高	揚を図る。	

	児はC Jのりたい(1J 野計画)		
キーワ	こうありたい	だれが	
ワード	_ 767 71_V	地域・団体名・市・県・国	
	住みやすい、残りたいと思える境を つくりたい	境地[区公民館
	ンへのたい	境地[区公民館
		境地区公民館 振興会 消防団 境小学校	
/ -	▲ 桜公園	市	土木課
住環境			企画政策課
			総務課
			教育総務課
			土木課

	古の正明を部 目生の目紀		
前期(1~3年目) 平成26~28年	中期(4~6年目) 平成29~令和元年	後期(7~10年目) 令和2年~5年	市役所関係課長等の見解
〇買い物弱者の対策を	【 行う。		※1 現在、桜公園に隣接する鉄道記念公園にトイレが設置してある為、トイレの設置は困難です。 しかし、桜公園から当トイレを利
○病院等に行くため、耳	 車を乗り合わせる仕組みを [*]	つくる。	用する場合は階段の昇降があり、利用に支障を来たしている状況は理解しておりますので、昇降路の改善を検討してまいります。
	○ 防災・防犯を地域で・防犯灯をLED化すんで ・防犯灯をLED化するでは、設置する。 ・防犯カメラの設置を	3 .	※2 これまで年2回、維持管理 業者に委託し定期的に除草を実施しており、また、委託期間外で 雑草が繁茂している時期につい ても対応しているところでござい ます。今後も環境維持のため除 草の時期等を含め、より効率的 な対応が出来るように連携させていただきたいと考えております
〇桜公園の敷地内への	カトイレ設置は困難です。※	(1	が、地域のご協力も頂きますようお願いいたします。 ※3 案内看板の形状や設置場所等の具体的な事業の実施方法
〇 鉄道公園・桜公園のまいります。※2	草払いについて、対応可能	の範囲で協力して	を協議させていただきたいと考えております。 ※4 牛根境地区の事前通行規制区間は、過去、同区間で発生 した土砂災害の降雨履歴及び専
○桜公園への大きな家	■ 内看板の設置について、	協力いたします。※3	門家を交えた山間部の地形や土質の分析結果から、降雨が連続200mmに達すると落石や土砂崩れの危険が高まる区間として、全面通行止めを行っています。 生活道路としてご利用される
片側規制では、予測	↓ の際、遮断機を片側だけ開 不可能な規模の落石や土碌 戻できないため、やはり全面	砂崩れから道路	方々にとっては大変ご不便かと 存じますが、ご理解頂き、今後も ご協力くださいますようお願い申 し上げます。
得ません。※4	た できない ためり、やはり主面	通1] 正めとせきるを	※5 学校の体育館は第一義的には、学校教育として使用する施設であります。クーラー設置に当たっては、体育館に外表が入る
〇 自主避難所(境小体ます。※5	育館)へのクーラー設置は	難しいと考えられ	ないようにするなどの改修工事も 併せて行う必要もあり、多額の費 用が必要となることから難しいと 考えられます。
〇 危険個所(光村文庫 へ要望いたします。※	近くの交差点)の停止線に	ついて、公安委員会	※6 通学路緊急合同点検において要望を頂いておりますが、停止線は公安委員会が設置することとなっておりますので、要望いたします。
〇 傷んでいる市道(地 維持補修に努めます	! 区全体)の補修をについて、 ⁻ 。※7	現地調査を行い、	※7 歩行者や通行車両の安全 確保・環境維持の為、より効率的 な維持補修が出来るように努め てまいります。
		•	

2	境はこつめりたい (付 <u></u> 割計画)	
キーヮ	こうありたい	だれが
 	C 7009/201	地域・団体名・市・県・国
	にぎやかなふれあいの場をつくりたい	漁協婦人部 老人クラブ 境小学校 いきいきサロン元気会
 		境浜ふれあい協議会 境地区公民館
人とのつなが	▲ 食を通したふれあいの場 (いきいきサロン食事会)	境浜ふれあい協議会 境地区公民館
ij	境の昔の写真	文化教養部
		福祉厚生部
	▲ 昔の写真展	総務委員会

	市役所関係課長等の見解		
前期(1~3年目) 平成26~28年	中期(4~6年目) 平成29~令和元年	後期(7~10年目) 令和2年~5年	市区川岛小林区寺 07元升
	○ 高齢者と子どものふ ・小物づくり教室 ・本の読み聞かせ ・釣った魚を調理して		
○ 食をとおしたふれあ 開催する。	いの場を、2~3か月に1回]、参加しやすい形で	
〇 地元の食材を活用	し、地区外の人たちとの交流	充の場をつくる。	
○昔の写真を集め、写	- 真展を開催する。		
〇 休憩して雑談できる	よう、まちの各所に長いする	を設置する。	
	〇 地区の高齢者の健康 ため、グラウンドゴル する。		

2	境はこうありたい(行動計画)		
+	こうありたい	だれが	
ワード	C 7839720.	地域•団体	名・市・県・国
	にぎやかなふれあいの場を つくりたい	振興会	
		境浜ふれあい協議会	
人とのつな	▲ 境浜ふれあい館	PTA 振興会 子ども育成会	
ながり		境地区公民館	
		市	企画政策課
	▲ 境浜ふれあい館活用イベント(鮮魚祭)	וןו	総務課

	 いつ、何をする		
	市役所関係課長等の見解		
前期(1~3年目) 平成26~28年	中期(4~6年目) 平成29~令和元年	後期(7~10年目) 令和2年~5年	
			※8 「境浜ふれあい館」につきましては、平成27年度の総務省事
			業を活用し、境地区住民の憩い の場として建設されました。
〇ふれあいの場に参え	加しやすいよう、声掛けをす 	る。	宿泊料をいただく運用は、旅館 業法または住宅宿泊事業法等に
			もとづいた申請等が必要であり、 クリアしていただかなくてはならな
			い取り決めが多くございます。 今後、宿泊所としての運営など
		X = 1 + 2	の最適な実施方法を協議させて いただければと思います。
	□ ○「境浜ふれあい館」 <i>の</i> ・帰省者等のためので		※9 光回線の整備につきまし
			ては、中央地区は概ね民間事業 者により整備されておりますが、 新城ビル・牛根ビル管内につきま
			しては、採算性などの問題から民間事業者による自主的な整備が
			見込まれていない状況となっております。
			本市としましても、光回線整備の重要性、必要性は十分認識し
		○ 子どもが増えるための対策を検討する。	
	・山村留学・参加しやすく、子ど	‡.が楽しめるイベント	けての事業実施が出来ないか、より有利な整備事業がないか、
	- 境地区のPR		国・県・民間事業者の動向を注視し、1日も早い未整備エリアの解
			消に向けまして、前向きな検討を継続していきたいと考えておりませ
			す。 ──※ビル:地域におけるNTTの通 「信基地局
			旧圣地内
	〇 パソコン教室を実施	± Z	
	(リハリコン教主を关心	9 %	
→ 〇 「境浜ふれあい館」 → いたします。 ※8	の宿泊所としての活用につい	ハて、則向さに協議	
		A = 1 (()) (d)	
↓ ○ 境地区への光回線(いきます。※9	の導入について、前向きな植	検討を継続して	

_	児はC Jのりたい(1J 野山画)	
キ ワ	こうありたい	だれが
ワード	C 70097201	地域・団体名・市・県・国
	魅力あふれる境を盛り上げたい	校区全体
		牛根漁協
地域資源	▲ ふれあい餅つき大会	地区住民
資 源	▲ 棒踊り(二月祭り)	婦人部 地区住民
		境地区公民館 振興会 老神神社役員会
		境地区公民館 振興会
		境地区公民館
		振興会

	士仏式即反部=生の日紹		
前期(1~3年目) 平成26~28年	中期(4~6年目) 平成29~令和元年	後期(7~10年目) 令和2年~5年	- 市役所関係課長等の見解 -
	○ 境の地域資源を活 開催する。 ・鉄道公園の桜並木・ ・若者や子育て世帯が ・特産品を活かしたま ・沖小島までのカヤッ ・海釣りや貝掘りなど	を活用したイベント が参加できるイベント 『空市 ・ク競争	
○砂浜に魚や貝類の	住める環境をつくる。		
〇 魚釣り等ができるよ	うな海岸部の環境をつくる	•	
〇 地元の食材を活用	し、B-1グランプリへ参加す	る。	
〇 棒踊りや六月灯を5	遊り上げ、子どもたちに継承	きする。	
○ 夏祭りでやぐらを組	んで盆踊りを開催する。		
〇 境の歴史をまとめる	た冊子や映像を活用する。		
〇 鉄道公園や桜公園 つくる。]に四季の花々を植え、皆で	で管理する体制を	

境づくりの歩み

平成26年度~令和元年度

地区の大目標

熱く語れ 大きく動け 人がふれあう 境浜魂



境地区全戸アンケート、境検討会(公開講座)等を経て、「境づくり計画 (初版)」が完成しました!

- 境づくり計画の策定 (市内8地区目)
- ・ 憩いのベンチ設置
- ・交通安全のぼり旗 設置
- 昔の写真展開催



鮮魚祭、もみほぐし (H27年度~)



交通安全のぼり旗 (H26年度)

H26年度



横断幕の設置 (H27年度)

H27年度



境浜ふれあい館改修 (H28年度)

H28年度

見直し計画による境づくりへ

平成27年度実施 過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業 「つながり広がる境浜の輪プロジェクト」

- 1. 地区住民がつながる境浜づくり事業
 - ふれあいの拠点づくり
 - ・ふるさと回帰の盆踊り開催
 - ・郷土冊子の製作
 - •伝統芸能の伝承









2. 外に広がる境浜づくり事業

- ・ふれあいの拠点を活用した地域外との交流促進
- ・交流イベントにおける商品開発
- ・桜の名所の魅力発信







公民館バザー (H29年度)

- 「境浜ふるさと本」の 増刷
- ・ポスター用ロール紙、 テント整備

ポスター制作 (H30年度)

- ・境づくり計画の見 直し
- ·鹿児島大学公開 講座実施

鹿児島大学公開講座 (R元年度)

H29年度

H30年度

R元年度

(2)境づくり計画見直し委員会名簿

公民館役職等	委員会 職名	委員氏名	公民館役職等	委員会 職名	委員氏名
公民館主事	委員長	森 幹春	交通安全部会長	委員	濵田 照彰
消防後援会長	議長	岩田 光弘	大園婦人部会長	委員	濵田 千枝
消防分団長 牛根漁業組合長	委 員	田村 眞一	下芦戸婦人部会長	委 員	久徳 たか子
川下振興会長	委 員	森 克己	上芦戸婦人部会長	委 員	濵田 理知子
下芦戸振興会長	委 員	滑石 孝人	田村婦人部会長	委員	新屋 光代
上芦戸振興会長	委員	濵田 俊徳	大園婦人部会長	委員	濵田 久枝
田村振興会長	委 員	徳留 準一	中園婦人部会長	委 員	若松 和子
中村振興会長	委員	中村 八重子	中村婦人部会長	委員	川筋 満子
中園振興会長	委員	徳留 透	上園婦人部会長	委員	久保 博子
大園振興会長	委員	砂田 米夫	川下婦人部会長	委員	濵畑 いさ子
上園振興会長	委員	徳留 和矢	民生委員	委員	森 早也子
松尾振興会長	委員	新屋 富子	境小学校教頭	委員	吉田 真也
高野振興会長	委員	隈元 護	きばろう会会長	委員	浜田 正人
境体協委員長	委員	濵添 護	いきいきサロン代 表	委員	冨原 泰子
境小学校校長	委員	上園 光行	いきいきサロン代 表	委員	久保 五子
校区婦人会会計 田村婦人部副会長	委員	田村 まり子	老神神社総代	委員	濵田 秀隆
境PTA会長	委 員	中村 賢治	老神神社役員	委 員	宮原 安己
子供育成会長	委員	川添 みずほ	体育指導員	委員	岩下 勇児
境老人クラブ会長	委員	山下 一雄	市議会議員	委員	徳留 邦治
			市議会議員	委員	森 武一

(3)策定経過

主な取組	日 付	会議の名称	参加者数
・計画を見直すことを組織決定	H31/4/26	境地区公民館総会	33 名
・鹿児島大学小栗准教授を迎え、今後 境でやりたいことを協議	R1/7/18	境づくりを語る会	43 名
・行動計画の振り返り	R1/8/22	第1回見直し委員会	27 名
・新たに取り組みたいことについて協議	R1/9/20	第2回見直し委員会	24 名
・具体的な取組、要望事項について班協議	R1/10/17	第3回見直し委員会	23 名
・「だれが」「要望・協力依頼事項」について協議	R1/11/7	第4回見直し委員会	20 名
・市関係課長等と見直し行動計画案の 要望事項について意見交換	R1/12/19	第5回見直し委員会	29 名
・計画書の仕上げ作業・見直し計画書原案の承認・決定	R2/1/16	第6回見直し委員会	23 名



▲市関係課長との意見交換(第5回見直し委員会)



▲ 垂水スポーツフェスティバル

あとがき

わたしたちは、平成 26 年度に 10 年間の地域振興計画「境づくり計画」を策定し、地域づくりに取り組んできました。

「10年後のありたい姿」や、それらが実現に向かうための行動計画に基づいて、交流の拠点である「境浜ふれあい館」の竣工や鮮魚祭、もみほぐし等の実施、約30年ぶりの盆踊りの復活や郷土冊子の製作など、地区内外との交流を広げてきました。

計画期間の中間期を迎えた令和元年度、中後期における地域づくりをさらに展開させていくため、計画見直しを行いました。

初回は、「境づくりを語る会」を実施しました。まちづくりの専門である鹿児島大学准教授の小栗先生と学生の皆さんにもご参加いただき、新たなアイデアをいただきながら、境地区のこれからについて賑やかに話し合うことができました。

委員の皆様には、これまでの振り返りも行いながら、境の現在~未来に向け、境地区のまちづくりについて真剣にご協議いただき、見直し版を策定することができました。 今後とも、地区の皆様のご協力をお願いいたします。

最後に、見直し委員会に参加していただいた委員の皆様、市の関係各課に心より感謝 申し上げます。

令和2年1月16日

境地区公民館 主事 境づくり計画見直し委員会委員長 森 幹春

熱く語れ 大きく動け 人がふれあう 境浜魂

境づくり計画 (見直し版)

発行年月 令和2年1月

編集·発行 境地区公民館

境づくり計画見直し委員会

〒899-4631

鹿児島県垂水市牛根境 1257 番地 1

250994-36-3414

協 働 制 作 垂水市役所関係各課

企画政策課地域振興係

